

Q-1 全国大会（万博会場）に出場しました！

朝日放送テレビの「Q-1 ～U18 が未来を変える★研究発表 SHOW～2025 年大会」のセミファイナルが、5月31日（土）に渋谷で開催され、科学部地学系研究班が発表しました。今年は第4回大会となり、過去最多となる39都道府県＋アメリカから293チームがエントリーしました。1次選考（書類審査）と2次選考（動画審査）で選出された16チームに特別出場枠の1チームを加えた17チームによるセミファイナルが都内で行われ、決勝に進む3チームが選出されました。

本校から前川司さん（3年）、中田天晴さん（3年）、富士佳蓮さん（3年）、山口歩珠さん（2年）、辻本ゆき乃さん（2年）らが発表しました。内容は「豪州 NSW 州南東部 Bingi Bingi Point 複合深成岩体のマグマ分化末期の環境―露頭調査と角閃石の波状累帯構造の解析に基づいて―」でした。学会などとは違う雰囲気、カメラや関係者の方々が多くいる会場の中、緊張しながらもしっかり発表ができました。さまざまな分野の審査員からのするどい質問にも丁寧に答えることができました。結果はベスト8に選出され、7月21日（月・祝）に大阪万博内の会場で発表させていただく機会を獲得しました！

万博会場での発表では、自分たちの研究の結果を堂々と発表することが出来ました。今回は残念ながらファイナルへの進出はできませんでしたが、ABC アスミライ賞を頂くことが出来ました。来年はファイナル進出できるよう、さらに研究を深めていきます。



わくわく実験教室を実施しました！



7月24日（木）に毎年科学部と生活創造部共催で「わくわく実験教室」を行いました。姫路市内の児童22名と保護者21名が、科学部による「磁石のふしぎ」と、生活創造部による「ピザがふくらむナゾを解明しよう」をテーマに本校で2つのグループに分かれて実験を行いました。疑問があれば実験をしていく中で、参加してくれた小学生からたくさん質問も出ながら楽しく実験・実者を行いました。



〈生徒の感想〉

- ・自分よりもずいぶん幼い子達を相手にするのは初めてで、色々頭を悩ませて挑んだ行事でした。子ども達の無限の発想力に圧倒されるとともに、科学の楽しさを共有できて、私たち自身大きな学びになりました。